

独立行政法人日本貿易保険 決算報告書

(2013年4月1日から2014年3月31日まで)

(単位:百万円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
収入				
業務収入	18,241	13,703	△ 4,538	
正味収入保険料	11,621	8,153	△ 3,468	(注1)
正味回収金	2,000	37	△ 1,963	(注2)
受取利息	4,620	5,245	625	(注3)
その他業務収入	-	268	268	
被出資財産からの回収金	7,491	11,367	3,876	(注4)
有価証券の償還等	19,737	30,997	11,260	(注5)
短期借入金	-	-	-	
前年度繰越金	10,937	10,937	-	
計	56,406	67,004	10,598	
支出				
業務支出	25,340	6,181	△ 19,159	
正味支払保険金	19,544	1,201	△ 18,343	(注6)
人件費	1,247	1,331	84	
国庫納付金	0	0	0	
その他業務支出	4,549	3,649	△ 900	(注7)
投資支出	2,111	546	△ 1,565	
システム開発費	2,041	470	△ 1,571	(注8)
その他投資支出	70	76	6	
有価証券の取得	-	52,879	52,879	(注5)
短期借入金返済	-	-	-	
その他の支出	-	0	0	
翌年度繰越金	28,955	9,101	△ 19,853	
予算差異	-	△ 1,704	△ 1,704	
計	56,406	67,004	10,598	

(注)金額は、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

【予算額との差額の主な要因は、以下の通りです。】

- (注1) 当初予定を下回る保険契約高となったことから、予算額を大幅に下回りました。
- (注2) 支払保険金が少なかった事等により、予算額を大幅に下回りました。
- (注3) 保有有価証券残高が増えたことから、予算額を上回りました。
- (注4) 回収金から被保険者に配分する利息が減ったことから、予算額を大幅に上回りました。
- (注5) 国庫短期証券の買い入れ等により、有価証券の取得及び償還等の額は予算額を大幅に上回りました。
- (注6) 保険事故が少なかったことから、予算額を大幅に下回りました。
- (注7) 事業費及び一般管理費の減少を図り、その他業務支出は予算額を下回りました。
- (注8) システム開発案件及びIT環境整備案件の精査等により、予算額を大幅に下回りました。